

2011 年度

大学院人間科学研究科修了生及び

大阪大学人間科学部卒業生の生活と意識に関する調査結果

2012 年 3 月 22 日 実施

配布数 164 回収数 134 (回収率 82 %)

(アンケート用紙は末尾に添付)

大阪大学人間科学部・大学院人間科学研究科 評価委員会

このアンケート調査は、本学部卒業生および本研究科修了生の在学中の生活と意識を明らかにするために行われた。アンケート用紙は平成 23 年度卒業式当日(2012 年 3 月 22 日)、人間科学部本館 51 教室で開催された学位授与式において式の出席者に配布され、室内で記入、退室時に回収された。

アンケートは学生自身、学生生活のこと、大学教育や学生支援、本学部・研究科に関する事項等、38 の質問項目から構成されている。

以下、アンケートの設問順に各問の集計結果を図表で示す。

### 問 1. 性別

表 1 回答者の性別

	人数	%
1. 女性	82	61.2
2. 男性	52	38.8
計	134	

### 問 2. 卒業、修了の内訳

表 2 回答者の卒業・修了内訳

	人数	%
1. 人間科学部	75	56.0
2. 大学院人間科学研究科 博士前期課程	54	40.3
3. 大学院人間科学研究科 博士後期課程	5	3.7
計	134	

### 問 3. 所属学科目／学系

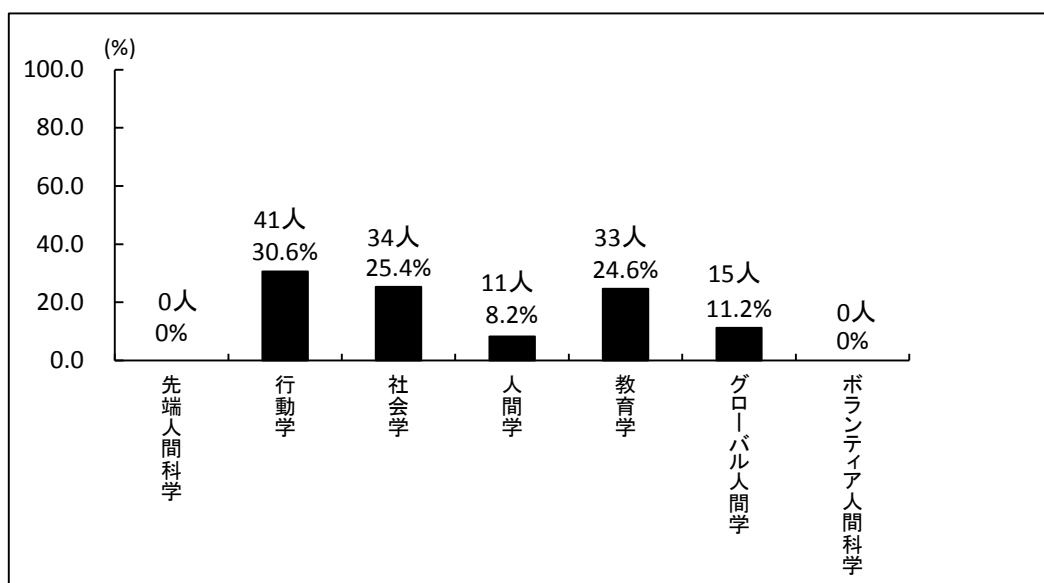


図 1 所属各科目／学系の内訳

問 4. 卒業・修了後の進路

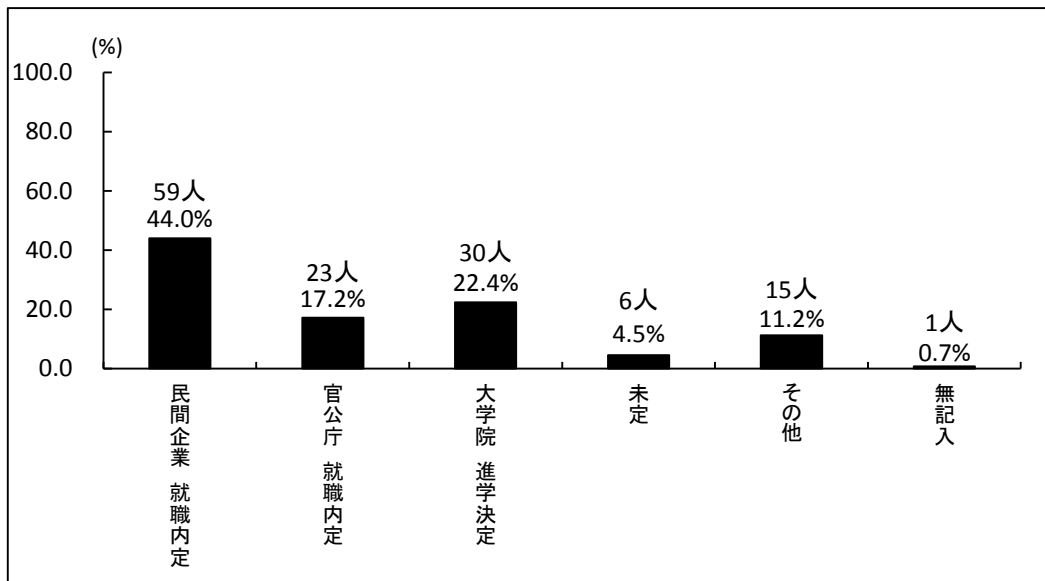


図 2 卒業・修了後の進路

学生生活または院生生活について

問 5. 本学部／本研究科を選んだ理由（複数回答可）

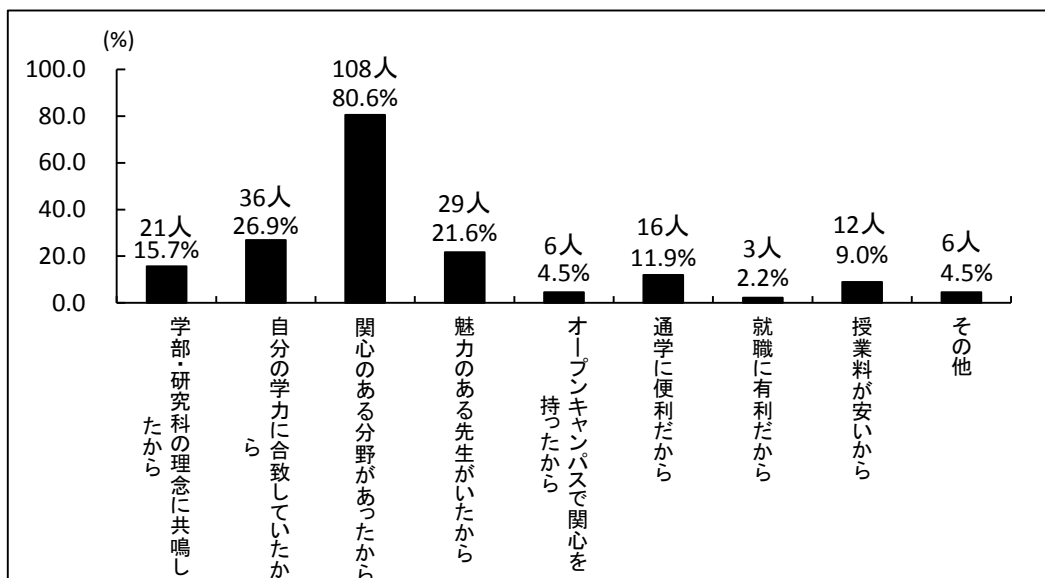


図 3 本学部／本研究科を選んだ理由

問 6. 入学前のオープンキャンパス参加状況

表 3 オープンキャンパス参加内訳

	人数	%
1. 参加した	39	29.1
2. 参加しなかった	93	69.4
無記入	2	1.5
計	134	

問 7. 学科目を定める時の情報について (学部卒業生のみ)

表 4 学科目の情報について

	人数	%
1. 十分与えられた	15	20.0
2. まあ与えられた	52	69.3
3. あまり与えられなかった	6	8.0
4. 全然与えられなかった	2	2.7
計	75	

問 8. 学科目の選択理由 (学部卒業生のみ/複数回答可)

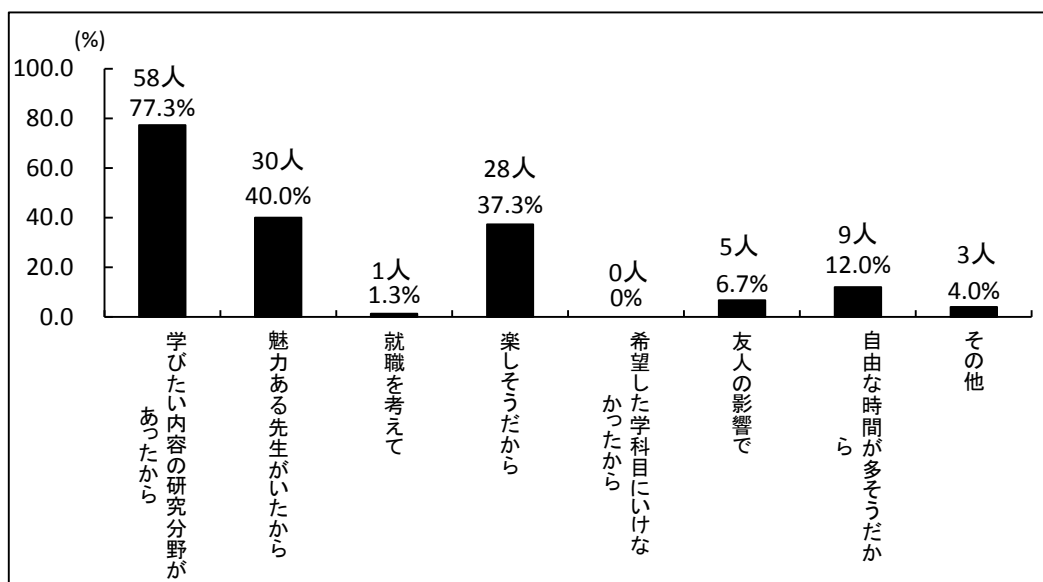


図 4 学科目の選択理由について

問 9. 学生（院生）生活で力を注いだ活動事項について

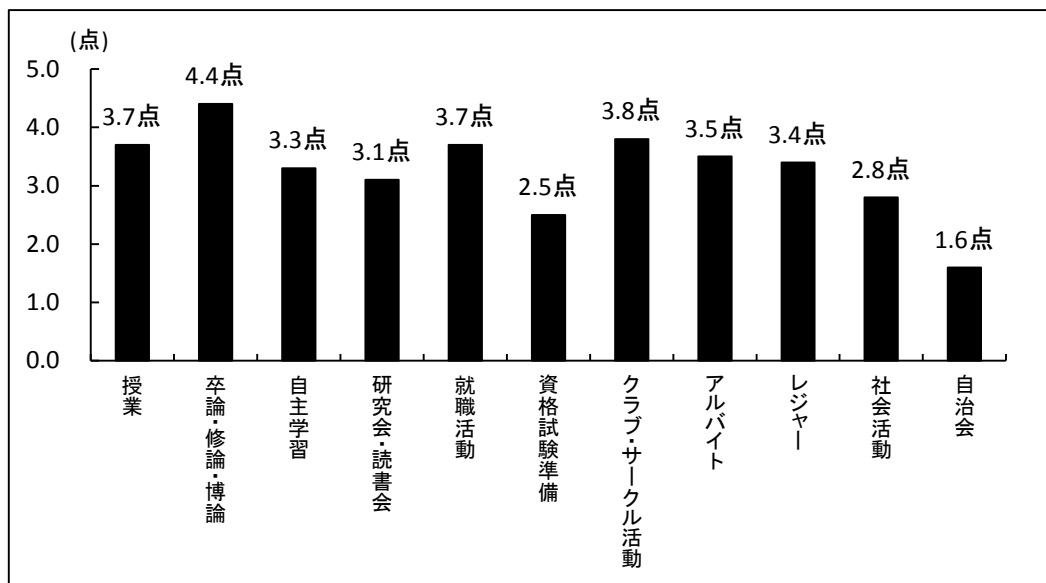


図 5 学生（院生）時代に力を注いだ活動事項

図 5 は学生／院生生活における 11 の活動事項に関して、それぞれどの程度力を注いだかについて評定を求めた結果の平均値である。「非常に力を注いだ」を 5 点、「まあ力を注いだ」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「あまり力を注がなかった」を 2 点、「力を注がなかった」を 1 点とした。平均値が高いほどその活動に対し力を注いだと評定されたことを意味している。

全学共通教育（豊中キャンパス）のカリキュラムについて

問 10～14 は編入生を除く学部卒業生のみが回答。該当者は 73 名。

問 10. 「教養教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

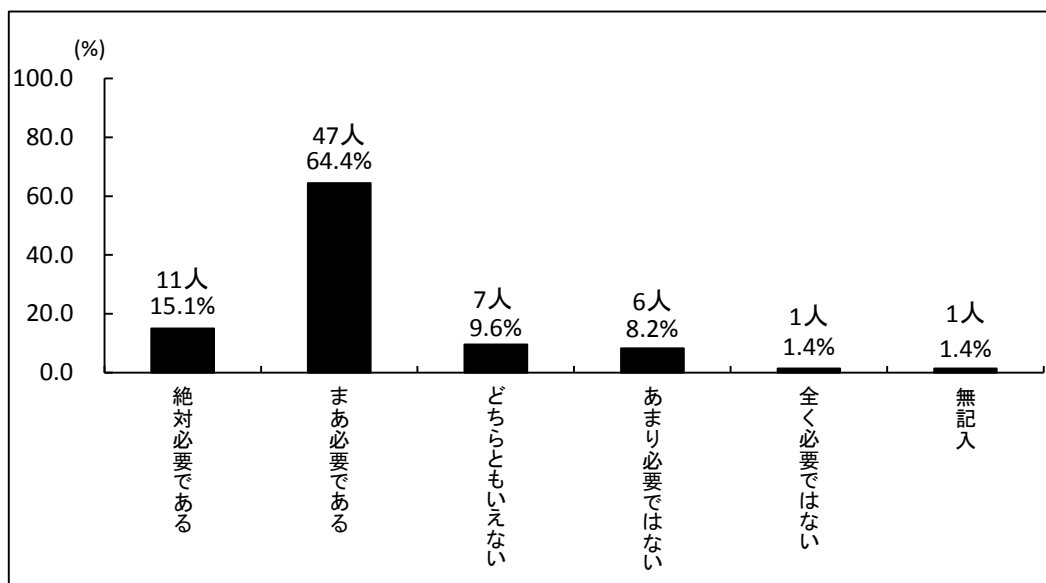


図 6 「教養教育科目」の必要性について

問 11. 「外国語教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

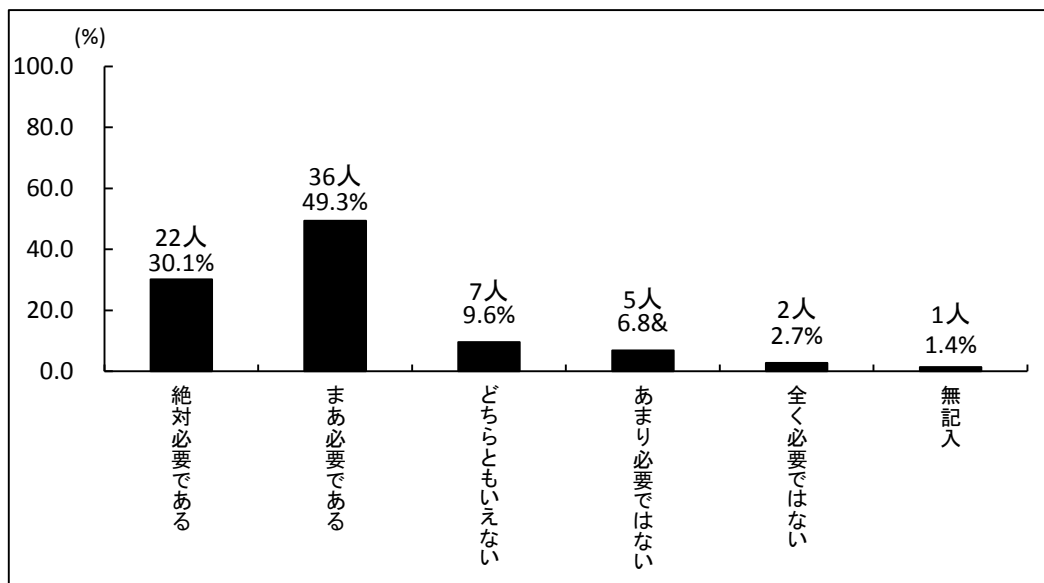


図 7 「外国語教育科目」の必要性について

問 12. 「情報処理教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

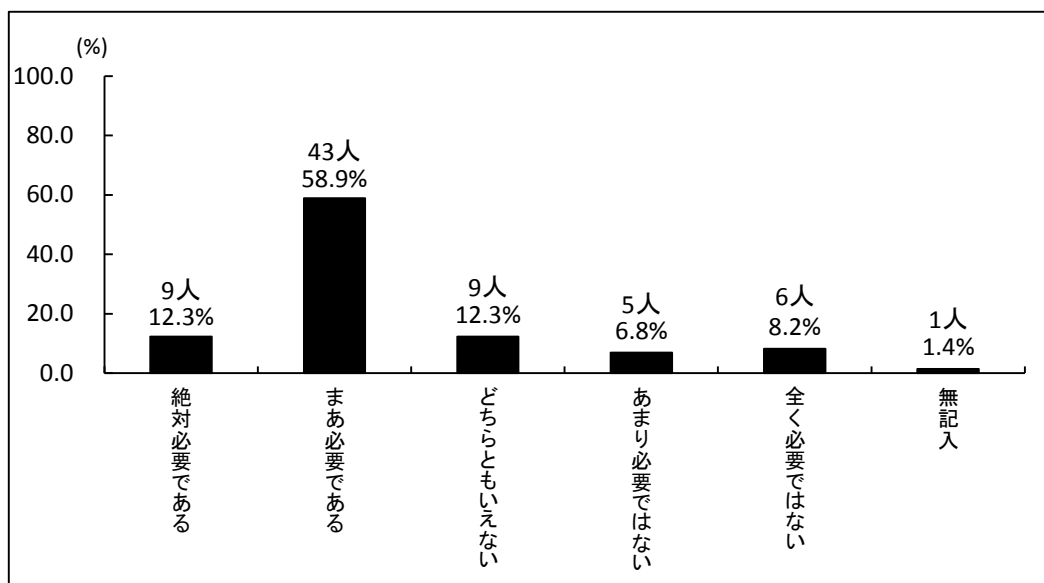


図 8 「情報処理教育科目」の必要性について

問 13. 「健康・スポーツ教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

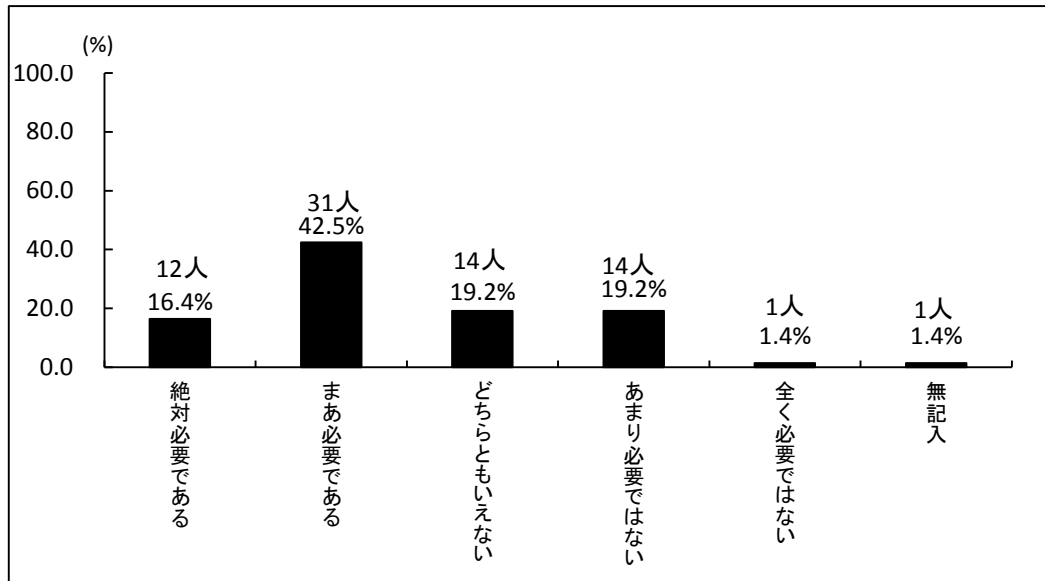


図 9 「健康・スポーツ教育科目」の必要性について

問 14. 「専門基礎教育科目」（統計学 A-I、統計学 A-II、数学 A、数学 B）の必要性について  
（編入生を除く学部卒業生のみ）

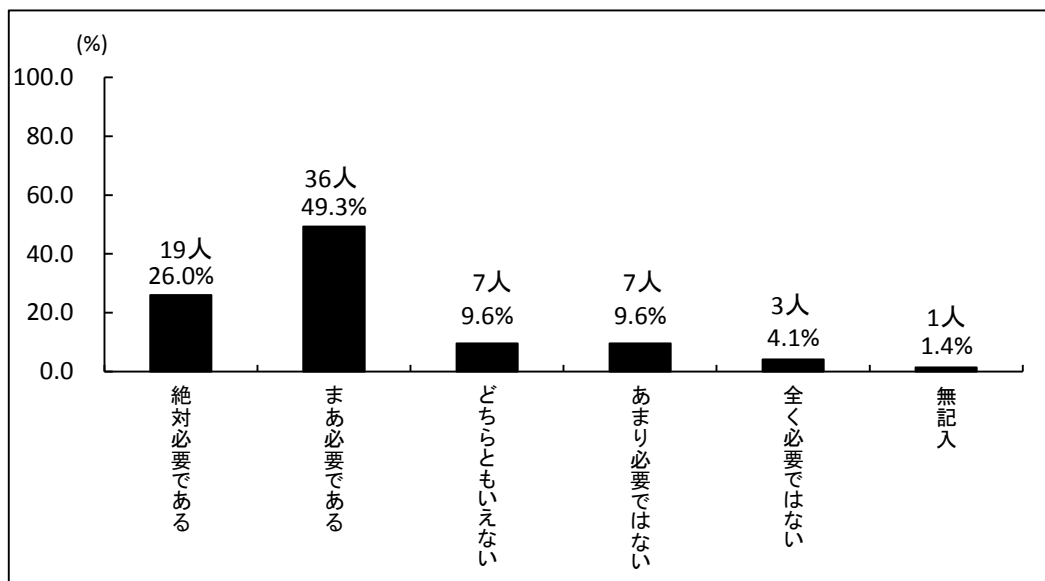


図 10 「専門基礎教育科目」の必要性について

**専門課程（吹田キャンパス）のカリキュラムについて**

問 15 は学部卒業生のみが回答。該当者は 75 名。

問 15. 「実験実習」の卒業に必要な単位数について（学部卒業生のみ）

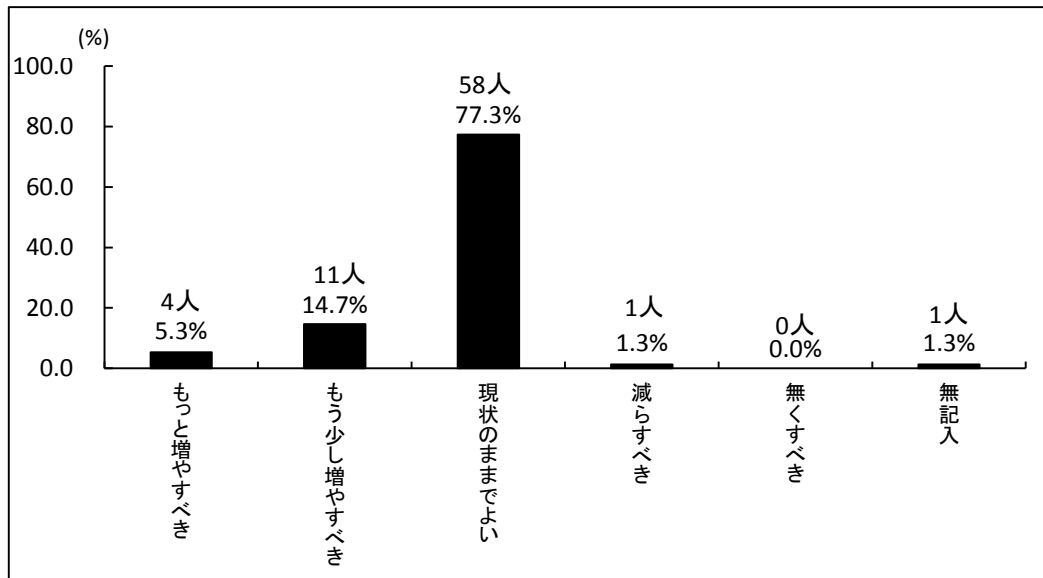


図 11 「実験実習」の単位数について

問 16. 「講義」の卒業に必要な単位数について

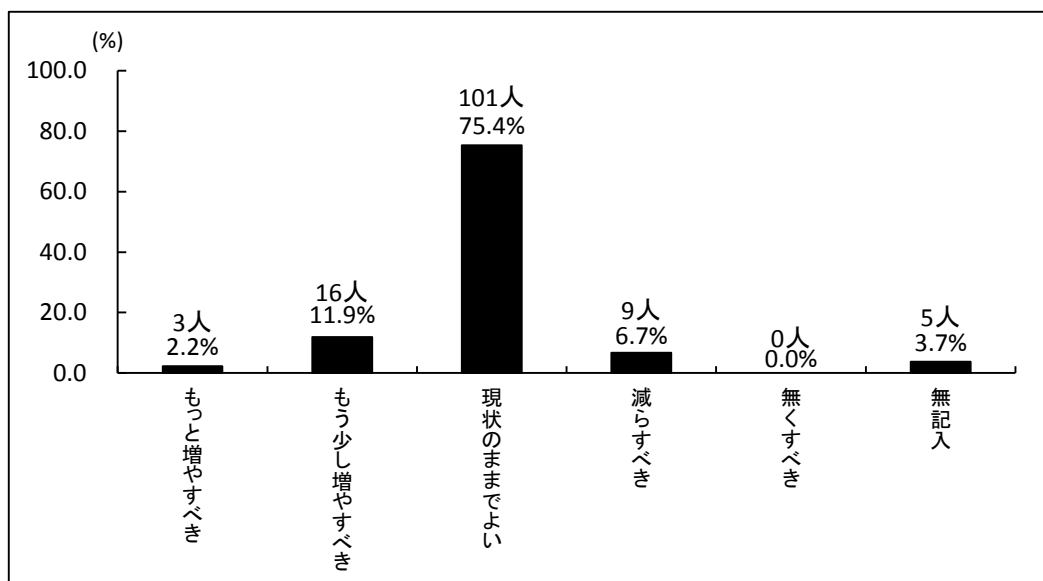


図 12 「講義」の単位数について



問 17. 「演習」の卒業に必要な単位数について

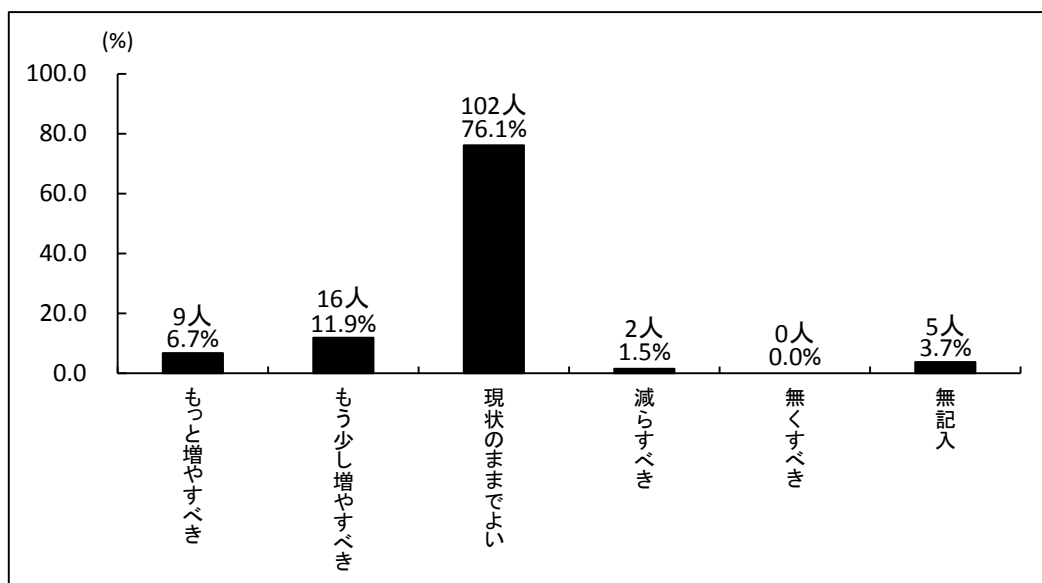


図 13 「演習」の単位数について

問 18. 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについて

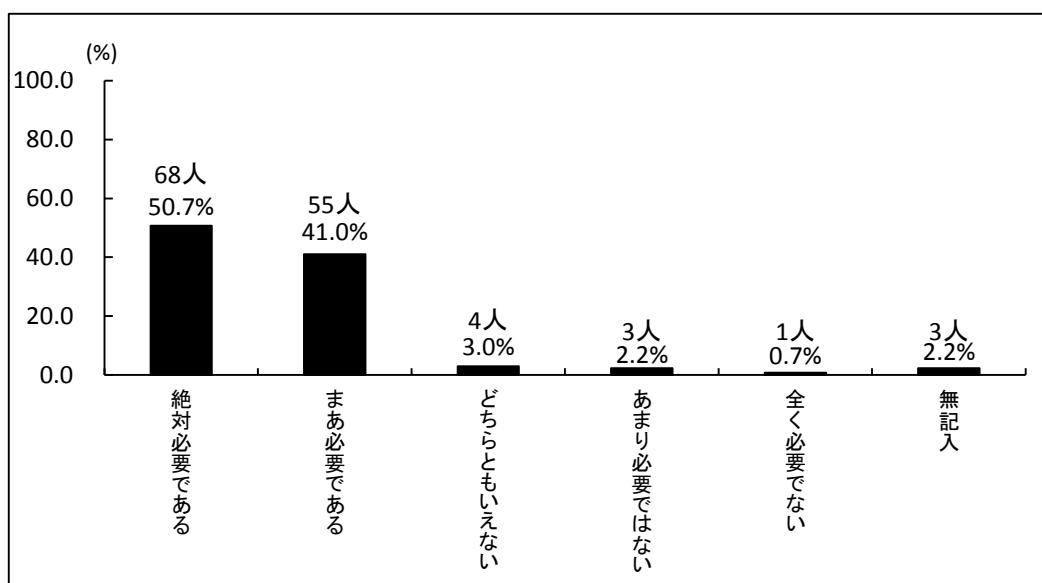


図 14 卒業論文または修士論文について

問 19. 卒業に必要な総単位数について

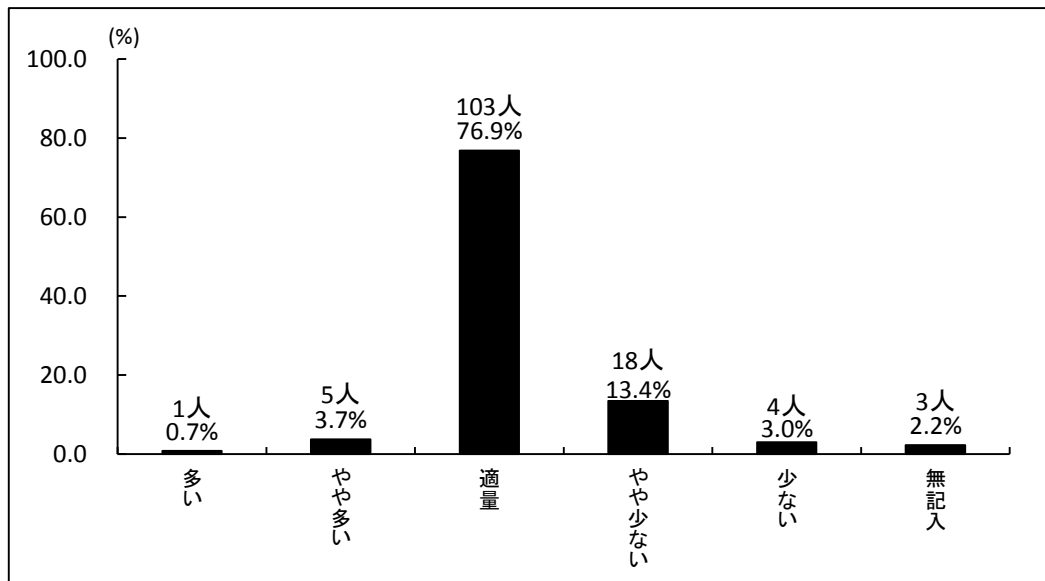


図 15 総単位数について

問 20. 本学部または本研究科で身に付いたこと（複数回答可）

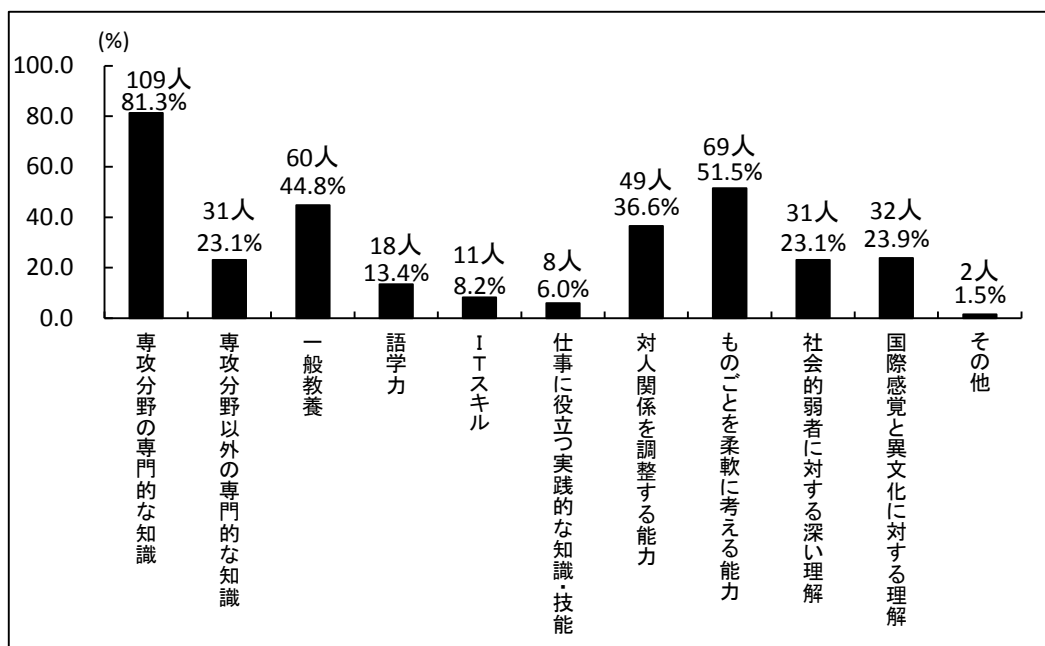


図 16 身についたことについて

問 21. 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うこと（複数回答可）

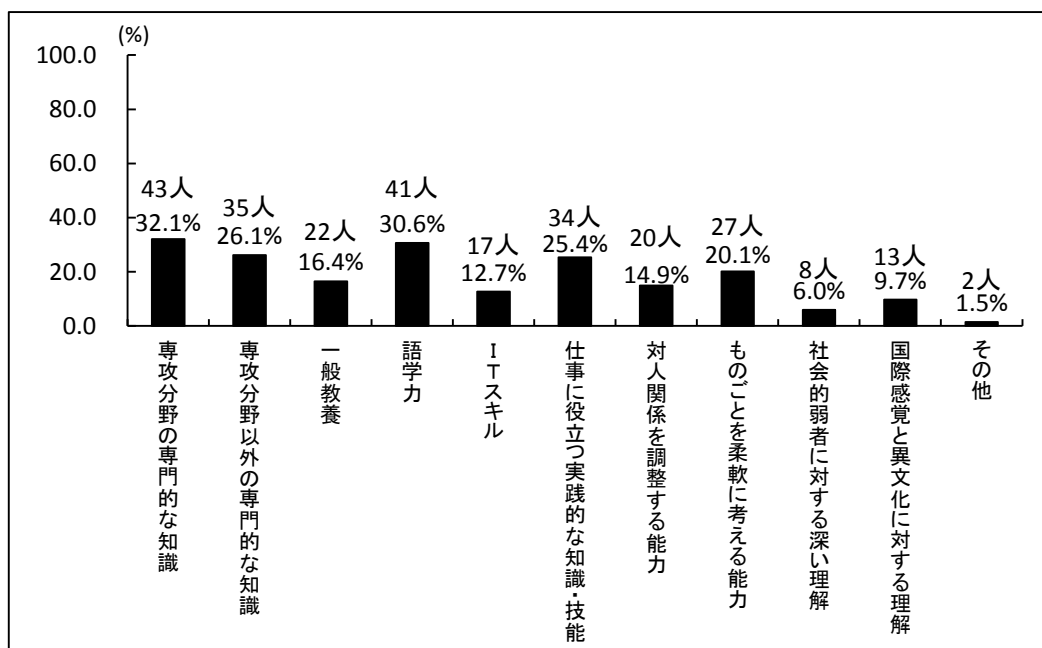


図 17 もっと身に付けられると良いことについて

インターンシップについて

問 22 .在学中、インターンシップに参加した状況

表 5 インターンシップ参加状況

	人数	%
1. 参加した	36	26.9
2. 参加しなかった	90	67.2
無記入	8	6.0
計	134	

問 23～27 はインターンシップに参加した人のみ回答（該当者 36 名）。

問 23 .参加した学年（参加した学生のみ／複数回答可）

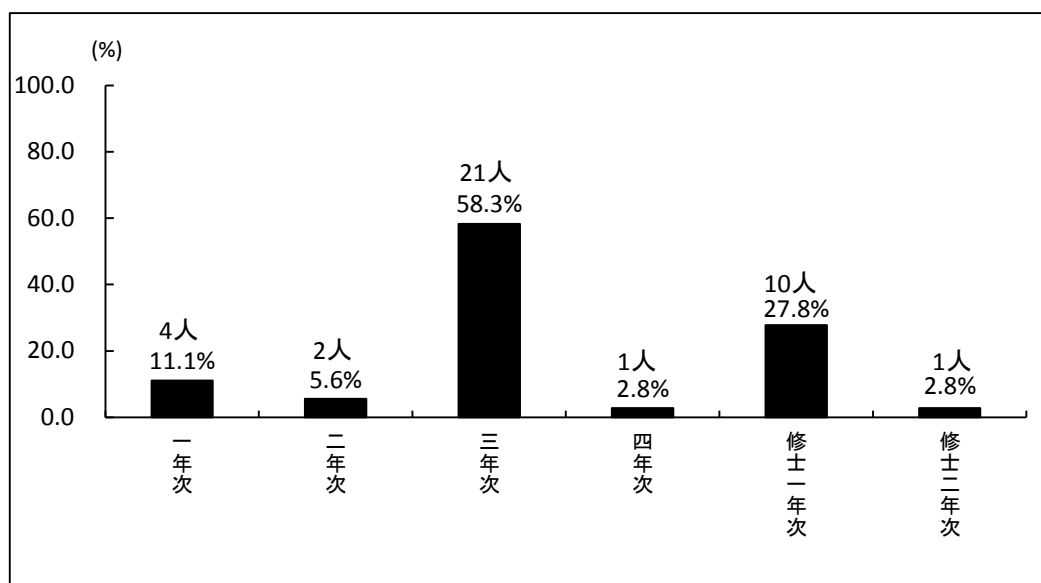


図 18 参加した時期について

問 24 .期間について（参加した学生のみ／複数回答可）

表 6 期間の内訳

	人数	%
1. 数日程度	11	30.6
2. 1～3週間程度	21	58.3
3. 1ヶ月以上	7	19.4

問 25 .受入先について（参加した学生のみ／複数回答可）

表 7 受入先の内訳

	人数	%
1. 一般企業	24	66.7
2. 官公庁	9	25.0
3. 非営利団体	7	19.4

問 26 .インターンシップ授業（インターンシップ A）等の履修について

（参加した学生のみ／複数回答可）

表 8 受入先の内訳

	人数	%
1. 履修した	20	55.6
2. 履修しなかった	16	44.4

問 27 .インターンシップは就職活動や進路決定に役立つかについて (参加した学生のみ/複数回答可)

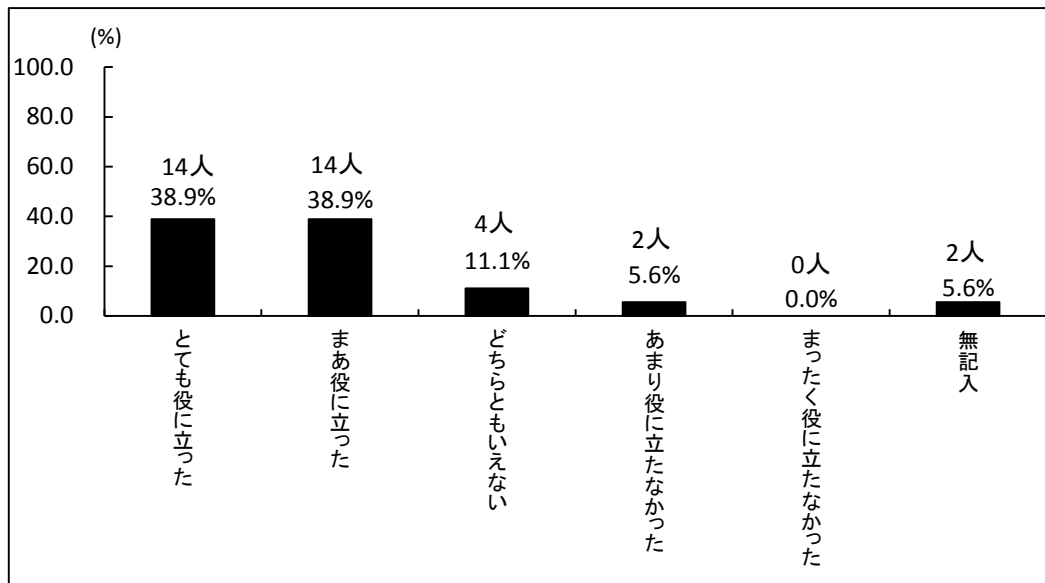


図 19 インターンシップの役立ちについて

問 28 .キャリアを考える様な授業が、カリキュラムに組み込まれる必要があるか

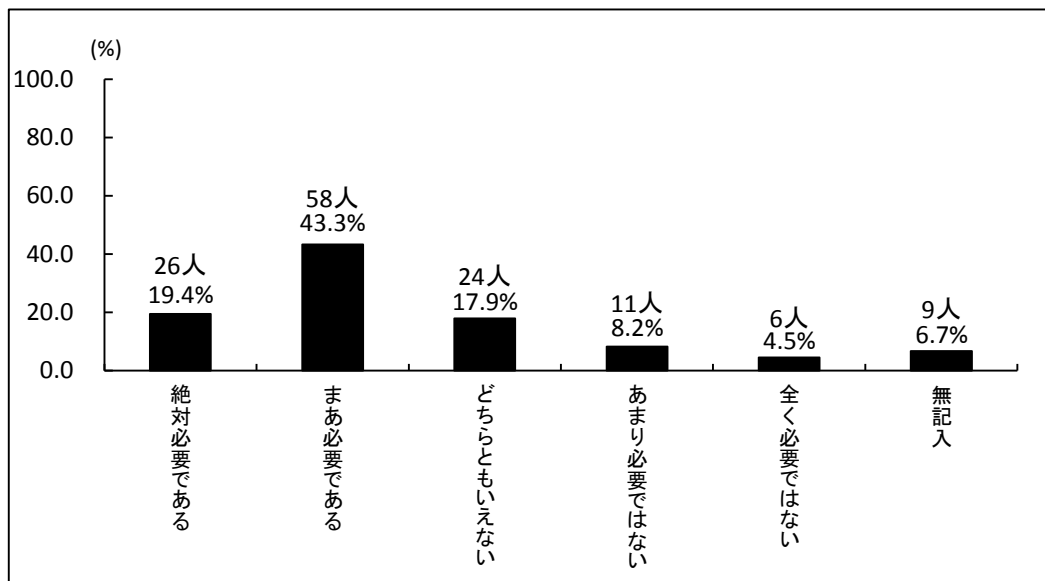


図 20 キャリア教育の必要性について

**就職活動について**

問 29～31 は就職活動をした人のみ回答（該当者 88 名）。

問 29 .就職活動にあたって、役に立った（重要だった）ものを順に2つ選んでください

（就職活動した学生のみ／2 項目選択）

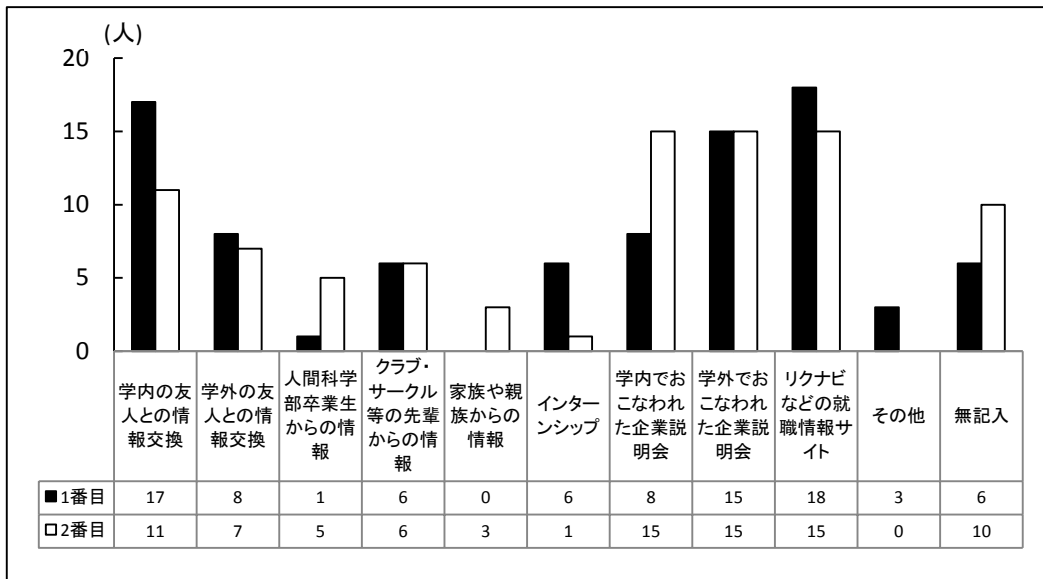


図 21 就職活動で役に立ったものについて

図 21 は就職活動における 9 の事項に関して、役に立った（重要だった）順に2つ選択してもらいグラフ化したものである。事項ごとに、黒の縦棒は1番目に選択、白の縦棒は2番目に選択した人数を示し、数を表記している。

問 30 .就職活動が一番忙しかった時期（就職活動した学生のみ）

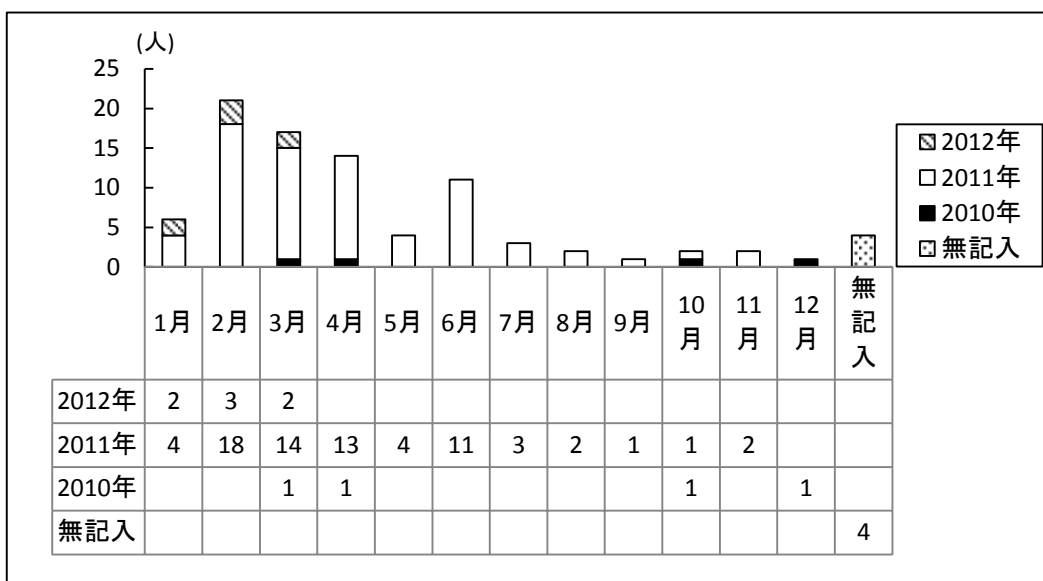


図 22 就職活動で忙しかった時期について

問 31 .就職活動と学業の両立に困難を感じたか（就職活動した学生のみ）

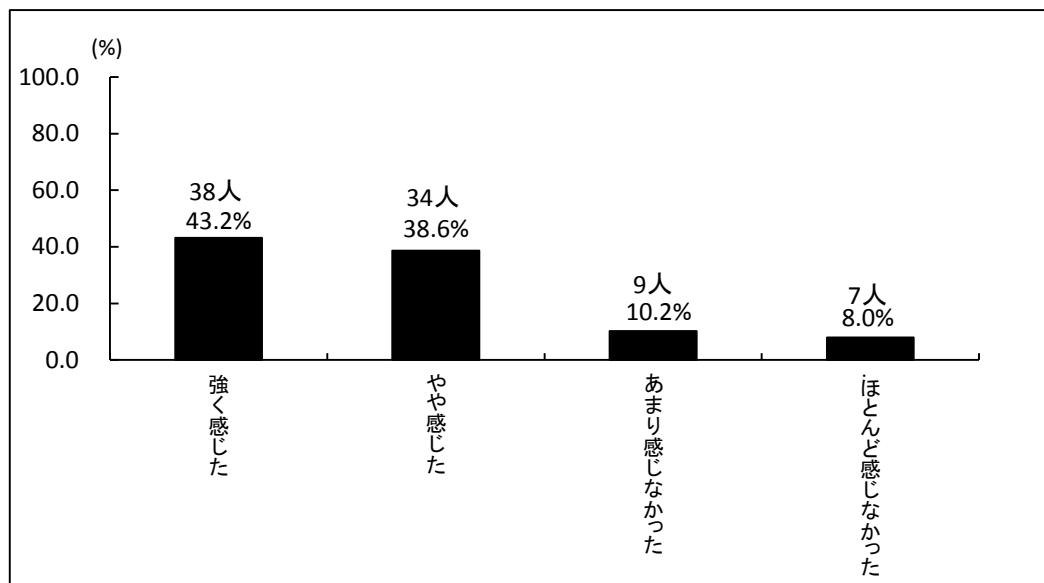


図 23 就職活動と学業両立の困難について

**就職活動・進路指導・学生支援に対する要望について**

問 32・33 は自由記述欄に記入された原文をそのまま記す。

問 32 .就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学部・本研究科に希望する支援について  
回答者 35 名

**説明会・支援等についての要望**

- ・説明会など
- ・人間科学研究科棟での説明会
- ・1年の時からの支援
- ・より就職に関して具体的な支援
- ・気軽に利用できる相談窓口など
- ・5月くらいまでで決まらなかった人への斡旋
- ・リクルーター等、暗黙の了解になっている事実を周知してほしい。
- ・現在就職ガイドブックなどを4回生初めの履修指導時に配布していますが、もっと早い時期に配布すべきではないかと思います。
- ・面接対策
- ・面接やESのチェック（企業、公務員どちらも）
- ・教員志望者に対する支援があってもよいと思う。教育系を持つのは、阪大の中でも人科のみですし。
- ・インターン実習の意義が不明。受け入れ企業も少なすぎる。  
新入生に対するガイダンスの充実。キャリア形成的な意味で。
- ・学生が自力ですべきなので支援は不要だと思う

### 情報交換・提供についての要望

- ・同じ業界をめざす人をつなぐような集まりの機会を作る
- ・人科の同期合同もしくは系合同の懇親会。院生はタテのつながりに比べて横のつながりが希薄で、社会系の同期は20人弱しかいないのにほとんど話をしていない人がいるのは異常。就職のための情報交換会があればいいと思う。
- ・人間科学研究科と企業との合同での取り組み。学生について理解してもらおう場、学生が企業について理解する場を提供してほしい。
- ・首都圏でのサービスセンター（PC/Net/プリンタが使える環境、サイバーメディア室の出張所のような施設）
- ・梅田周辺にサテライト校？（就活関連の冊子や時間を過ごすための）があると助かりました

### OB・OGについての要望

- ・OB紹介
- ・OB訪問の積極的なススメ
- ・OB訪問制度の充実を期待します
- ・論文と就活の両立に関する情報（OB・OGからの情報）を教えて欲しい
- ・OB・OGとの面会

### 公務員試験についての要望

- ・公務員講座の学内開講
- ・公務員試験については、大学内での講義などがあればよいと思いました
- ・公務員試験対策をもっと手厚くしてほしい
- ・公務員試験の学内講座を予備校と合同でやって欲しかったです
- ・公務員試験に関する情報提供は、豊中キャンパスの方が優遇されていると思います

### 就職活動時の授業についての要望

- ・就職活動時の、授業の救済措置もしくはそれに準ずるもの
- ・就職活動が本格化する4年次4月～7月の期間を実質上の休学状態にさせ、その分卒業演習の内容を濃くする等の抜本的な変更が必要と思われる。「卒業」の重みが軽すぎると思う。
- ・インターンや地方の説明会で休む時に振替でテストができるようにしてほしい。一部の先生が振替不可でテストを受けられなかった。
- ・書類の締切日が過ぎても大丈夫なようにしていただけるとありがたいと思う
- ・現在でも就職に気をつかいすぎだと思う。例えば就職活動のために講義を休むなどは本末転倒だと思う。



### その他の要望

- ・学割証の無制限配布
- ・地方への就職活動のための交通費の減額などのフォロー（企業と組んで）
- ・社会ともっと接する機会を増やす
- ・業界研究の助け

### 問 33 .就職活動以外の面で、本学部・本研究科に希望する支援について

回答者 20 名

#### 授業登録・単位についての要望

- ・授業の登録についてももう少し詳しい説明が必要だと思います
- ・単位の計算
- ・卒業要件単位がそろっているかどうか確認する手段が、より簡便に、より早い時期に、より確実に利用できる形になればと思います。4年の2学期直前などは不安でなりません。

#### 社会人支援についての要望

- ・社会人卒業生の転職活動の支援
- ・社会人学生への配慮（時間割など）があればありがたかったです

#### その他の要望

- ・学生相談の充実
- ・留学の積極的な広報支援
- ・論文のシステマティックな書き方についての講座。語学。
- ・阪大キャリア支援課のやっている Vision Navigation Seminar を参照してください
- ・研究室選択の支援の充実
- ・院生となると、精神的な病などで学校に行きづらくなりドロップアウトした友人も何人かいた。そのような現象の予防策があればいいと思った。
- ・学生起業への支援
- ・研究者になる方向の支援
- ・院生室内のパソコン機材、スキャナー等
- ・社会的活動をする機会を増やしてほしい。
- ・食事、健康

本学部または本研究科に対する総合的な意見について

問 34 .総合的に判断して、本学部・本研究科は満足できるものでしたか

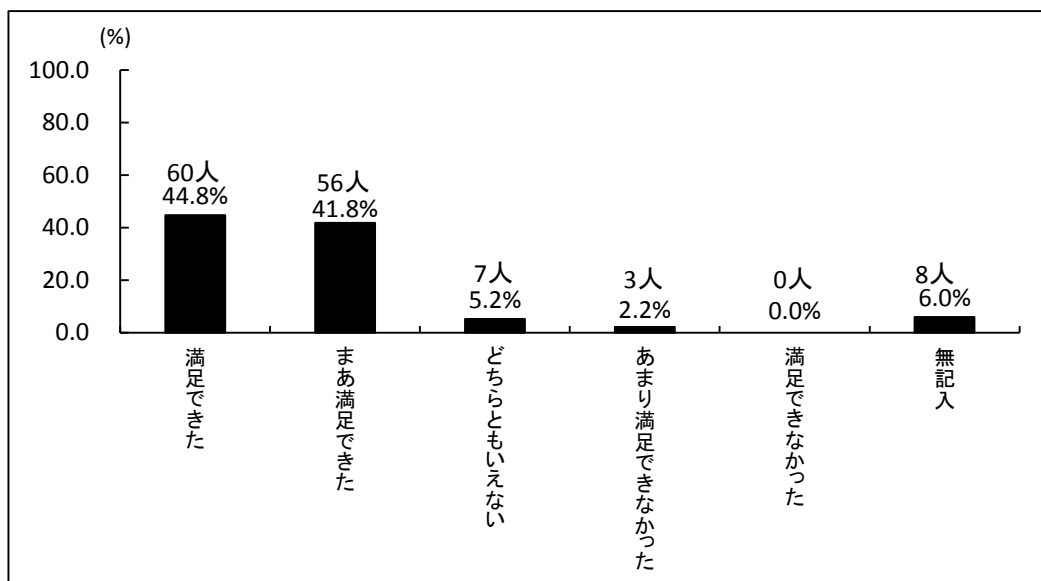


図 24 総合的な満足度について

問 35 .本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は満足できるものでしたか

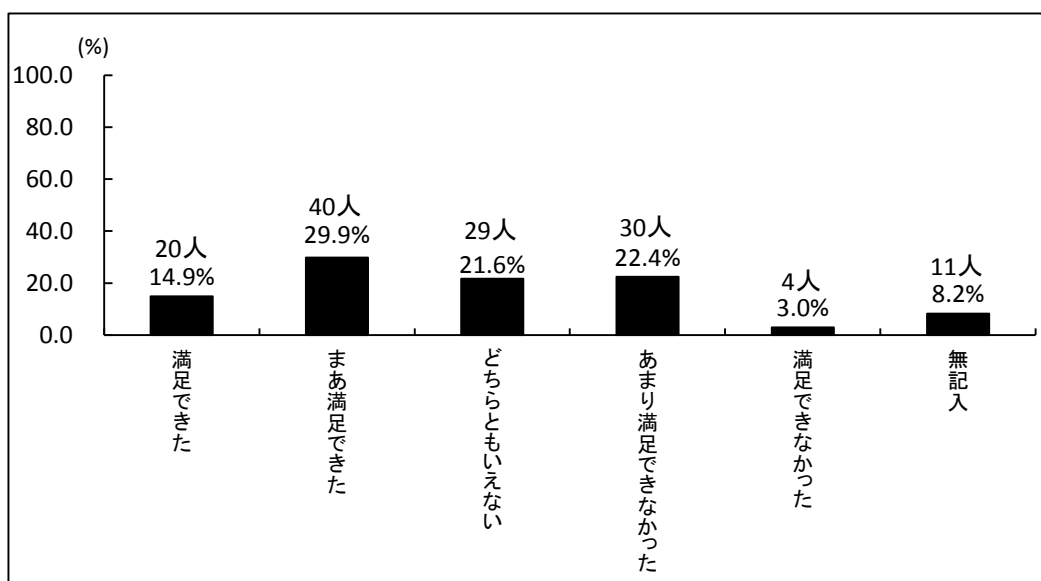


図 25 施設・設備の満足度について

問 36 .本学部・本研究科キャンパスサポート面は満足できるものでしたか

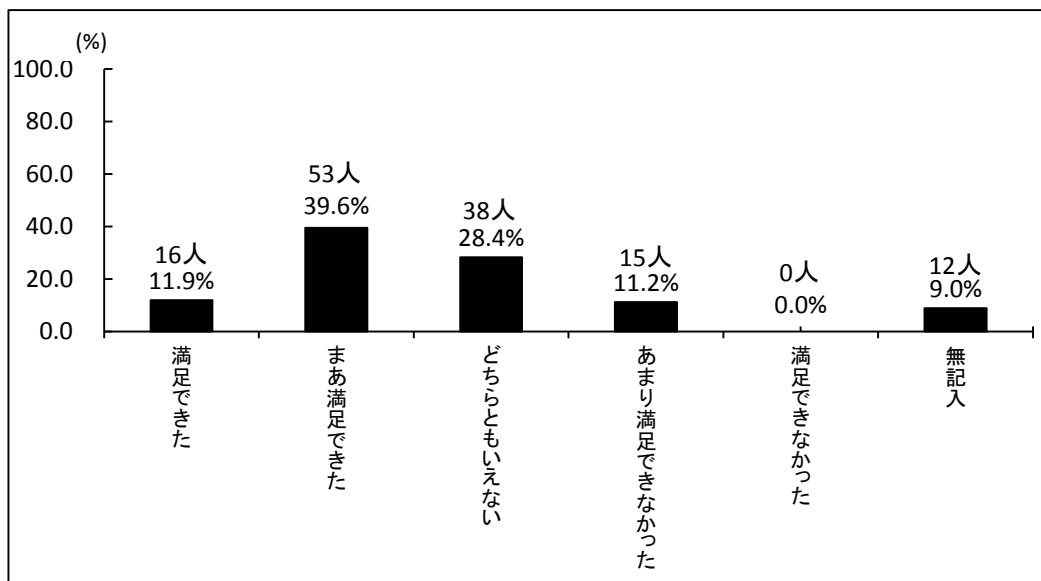


図 26 サポート面の満足度について

問 37・38 は自由記述欄に記入された原文をそのまま記す。

問 37 .本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・サポート面で改善して欲しいこと

回答者 45 名

#### 施設・設備についての要望

- ・ 講義室の机が狭い
- ・ 講義室のサイズにバリエーションが少ないのではないかと思います。受講人数に対して無駄に広かったり、逆に受講者が立ち見になってしまうような例が何度か見られました。
- ・ N 館もキレイにしていきたい
- ・ 独特のにおいがする教室がある。消臭してほしい。51 講義室など。
- ・ 院生室の充実（机数、広さ等）
- ・ 学生に割り当てられている研究室の割合が適切でない。学生の数に応じて割り当てるべき。
- ・ 学生控室の充実化（机、パソコンなど）
- ・ もっとくつろげる場がほしい。豊中もやってるみたいな、わいわいと集えるところがほしい。
- ・ シャワールーム必須（できれば仮眠室）
- ・ テニスコート付近へのウォータークーラー
- ・ 人科棟改装工事において、一部の研究室だけがキャンパスが変わることを強いられるのは、不当だと感じました。
- ・ コピー機が不便
- ・ 印刷できる場所
- ・ レポートの印刷の際、吹田キャンパスでプリンタが利用できない点を改善してほしいです
- ・ コピーカード以外でも使用できるコピー機が必要だと思う

- ・インターネットとプリンタの整備を！
- ・サイバーメディアのパソコンの少なさ。コピーできる所や、印刷できるところが少ない。
- ・難しいと思いますがパソコン室に印刷機があれば便利かと思います
- ・教育実習棟コンピュータ室の PC をもっと良いものにしてほしかった
- ・研究科全体に Wifi があればいいと思います
- ・昼食の調達が少し困難でした。ホッカ弁当の販売を、人間科学部棟内で行ってほしいです。
- ・店舗をつくってください。阪大生協と相談し、食堂やショップをつくってほしいです。
- ・人科付近には、大きな食堂（安価の）や売店が少ない。食堂のメニューが変わらなさすぎる。
- ・人間科学部にも学食を作って欲しい。くじらやの様な特殊なものではなく工学部食堂の様な！
- ・小さなものでも構わないので、売店があればいいと思います
- ・くじら屋のみそ汁がバケツに入ったそまつなものなのでなんとかしてほしい
- ・もっと fast food 店があればいいと思います
- ・工事で変わるので・・・

#### サポート面についての要望

- ・図書館のシステム
- ・図書館の使い方が複雑
- ・図書館施設を充実すべき
- ・図書室の開館時間をもう少し長くしてほしい
- ・図書館が土日にも開いているとよかったと思う
- ・図書室の休みをへらしてほしい。時間も、18 時までには開いてほしい。
- ・図書館が 24 時間だったらいいと思います
- ・人科の図書室は、時間も対応も大変不満足です。中学校の図書館のようです。
- ・人科図書室以外の本（各研究室の本）を借りるハードルが高すぎると思った。せっかく素晴らしい本があるのにもったいない。
- ・英ジャーナルのダウンロードを豊富にしてほしい。図書館をもっと開放的にしてほしい。
- ・図書館に古い本が多く、新しい本や資料がすごく少ない
- ・卒業単位が足りているか分からないので不安だった
- ・もっと早い時期に卒業できるかどうか教えてほしい
- ・基本的にあまりサポートがなかったです。教務課に行っても教えてもらえないことが多く困りました。
- ・教育系臨床心理学講座出身だが、教育に関してカリキュラムのずさんさが目立った。各系毎に合理的なカリキュラムがくまれているかもっと学生の意見を汲んでほしいと思った。
- ・バスの本数
- ・キャンパス間バスの台数をあと 1 本だけ増やしてほしいです
- ・最履（みのお便）の増便をぜひおねがいしたいです
- ・最履バスを快適にして欲しい
- ・箕面の交通手段を何とかしてほしい

### 問 38 本学部・本研究科に対する意見・感想について

回答者 17 名

- ・気持ちがあれば研究を深められるという点はとてもよかったと思う
- ・図書室にも PC を配置、もっと学びやすい環境を作ってほしい
- ・単位の換算が分かりづらい。判定もより早い時点から出てほしい。
- ・教員間・研究室間の派閥によらない交流がもっとあればよいと思う
- ・教員の指導意欲、マネジメント力の低さを改善すべき
- ・国際支援金からいろいろサポートいただいて、教務の方も親切で、居心地のよい学部でした
- ・女性に対する就職支援をより綿密にするべき。私は男であり、ぶらぶらしていても内定は頂くことができました。しかし、周囲を見ていると女性が苦勞しているところが目に付きます。女性は仕事と結婚が密に結びついています。仕事か結婚かの二択に陥ることがよくあると思います。こうした将来の自分、かなり重要な価値については、入学当初から真剣に考えるように指導するべきだと思います。専業主婦になるのも難しく、（非正規になる）共働きをするのも難しい日本の労働環境においては、女性に対するサポートは大学の責任であると考えます。
- ・今まで本当にお世話になってありがとうございます。留学生に対して、人間の事務室の先生や、指導先生とかたくさんの方の教職員先生のところから配慮してくれてありがとうございます。
- ・6年間ありがとうございます。修士を出る社会系の同期は自分も含めて全員就職が決まり、「文系の院生は就職できない」という思いこみを身を以て払拭することができました。
- ・社会人入試・長期履修等を受け入れて頂きありがとうございます
- ・有難うございました。お世話になりました
- ・4年間、ありがとうございます！
- ・4年間ありがとうございます
- ・4年間お世話になりました
- ・たのしかったです。ありがとうございます。
- ・楽しい学生生活でした
- ・楽しかったです。ありがとうございます。



平成 24 年 3 月  
大阪大学大学院人間科学研究科  
大阪大学人間科学部  
評価委員会・学生支援室

2011 年度

## 大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び 人間科学部卒業生の生活と意識に関する調査

このアンケートは人間科学研究科・人間科学部を修了/卒業しようとする皆さんを対象に行うものです。皆さんが過ごされた院生生活/学生生活を振り返り、日頃感じていたことを率直にお聞かせください。皆さんのご意見は今後の教育課程・教育内容・就職支援等の改善に役立てます。

あわただしい中で恐れ入りますが、よろしく御協力ください。アンケートは無記名で行います。回答は統計的に処理され、回答者を特定する事はございません。なお、調査結果は集計後、人間科学研究科/人間科学部 ホームページに掲載致しますのでご覧ください。

- (1) 回答は選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけてください  
(原則として○はひとつです)。

【例】 あなた自身についてお答えください。

- ① 人間科学部 卒業
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程 修了
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程 修了

- (2) 選択肢ではなく、空欄に記入していただく質問もあります。

回答したアンケートは退出時に出口で提出してください。



最初にあなた自身についてお教えてください。

問 1

1. 女性
2. 男性

問 2

1. 人間科学部 卒業
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程 修了
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程 修了

問 3

1. 先端人間科学 所属
2. 行動学 所属
3. 社会学 所属
4. 人間学 所属
5. 教育学 所属
6. グローバル人間学 所属
7. ボランティア人間科学 所属

問 4

1. 民間企業 就職内定
2. 官公庁 就職内定
3. 大学院 進学決定
4. 未定
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

つぎに、あなたの学生生活または院生生活についてお教えてください。

問 5 入学のときに本学部または本研究科を選んだ理由は何ですか（○はいくつでも）。

1. 学部・研究科の理念に共鳴したから
2. 自分の学力に合致していたから
3. 関心のある分野があったから
4. 魅力のある先生がいたから
5. オープンキャンパスで関心を持ったから
6. 通学に便利だから
7. 就職に有利だから
8. 授業料が安いから
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問 6 入学前に人間科学部のオープンキャンパスに参加しましたか。

1. 参加した
2. 参加しなかった

→学部卒業の方は次の問 7 へお進みください。

大学院修了の方は問 9 へお進みください。

問 7（学部卒業生のみご回答ください）

あなたは学科目を決める時、十分な情報を与えられたと思いますか。

1. 十分与えられた
2. まあ与えられた
3. あまり与えられなかった
4. 全然与えられなかった

問 8（学部卒業生のみご回答ください）

学科目を選択した理由は、つぎのどれでしたか（○はいくつでも）。

1. 学びたい内容の研究分野があったから
2. 魅力のある先生がいたから
3. 就職を考えて
4. 楽しそうだから
5. 希望した学科目にいけなかったから
6. 友人の影響で
7. 自由な時間が多そうだから
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問 9 学生生活または院生生活の中で、あなたはつぎの活動について、それぞれどの程度力を注いでいましたか。

	非常に力を注いだ	まあ力を注いだ	どちらともいえない	注がなかった	あまり力を注がなかった	力を注がなかった	該当しない
a. 授業	1	2	3	4	5	6	
b. 卒論・修論・博論	1	2	3	4	5	6	
c. 自主学習	1	2	3	4	5	6	
d. 研究会・読書会	1	2	3	4	5	6	
e. 就職活動	1	2	3	4	5	6	
f. 資格試験準備	1	2	3	4	5	6	
g. クラブ・サークル活動	1	2	3	4	5	6	
h. アルバイト	1	2	3	4	5	6	
i. レジャー	1	2	3	4	5	6	
j. 社会活動 (ボランティア等)	1	2	3	4	5	6	
k. 大学または学部の 自治会	1	2	3	4	5	6	

→学部卒業の方は次の問 10 へお進みください。  
学部編入された方は問 15 へお進みください。  
大学院修了の方は問 16 へお進みください。

全学共通教育（豊中キャンパス）の  
カリキュラムについて意見をお聞かせください。

問 10（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）  
「教養教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 11（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）  
「外国語教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 12（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）  
「情報処理教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 13（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）  
「健康・スポーツ教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 14（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）  
「専門基礎教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。  
（統計学A-I、統計学A-II、数学A、数学B）

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

専門課程（吹田キャンパス）の  
カリキュラムについて意見をお聞かせください。

問 15（学部卒業生のみご回答ください）  
「実験実習」の卒業に必要な単位数についてどう思いますか。

1. もっと増やすべき
2. もう少し増やすべき
3. 現状のままでよい
4. 減らすべき
5. 無くすべき

問 16「講義」の卒業に必要な単位数についてどう思いますか。

1. もっと増やすべき
2. もう少し増やすべき
3. 現状のままでよい
4. 減らすべき
5. 無くすべき

問 17「演習」の卒業に必要な単位数についてどう思いますか。

1. もっと増やすべき
2. もう少し増やすべき
3. 現状のままでよい
4. 減らすべき
5. 無くすべき

問 18 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについてどう思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない



問 19 卒業に必要な総単位数は適量だと思いますか。

1. 多い
2. やや多い
3. 適量
4. やや少ない
5. 少ない

問 20 本学部または本研究科で身に付いたことは何ですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他  
(具体的に： )

問 21 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うことはどれですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他  
(具体的に： )

つぎにインターンシップについてうかがいます。

問 22 在学中、インターンシップに参加しましたか（大学で実施した以外も含めてお答えください）。

1. 参加した
2. 参加しなかった

→参加した方は問 23 へお進みください。  
それ以外の方は問 28 へお進みください。

問 23（参加した方のみご回答ください）  
いつ参加しましたか（〇はいくつでも）。

1. 一年次
2. 二年次
3. 三年次
4. 四年次
5. 修士一年次
6. 修士二年次

問 24（参加した方のみご回答ください）  
どのくらいの期間でしたか（〇はいくつでも）。

1. 数日程度
2. 1～3週間程度
3. 1ヶ月以上

問 25（参加した方のみご回答ください）  
受入先について、あてはまるものに〇をしてください（〇はいくつでも）。

1. 一般企業
2. 官公庁
3. 非営利団体

問 26（参加した方のみご回答ください）  
インターンシップ授業（インターンシップA 等）は履修しましたか。

1. 履修した
2. 履修しなかった

問 27（参加した方のみご回答ください）  
インターンシップは就職活動や進路決定に役立ちましたか。

1. とても役に立った
2. まあ役に立った
3. どちらともいえない
4. あまり役に立たなかった
5. まったく役に立たなかった

問 28 将来の進路や就職のために、キャリアを考える様な授業がカリキュラムに組み込まれる必要があると思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

→在学中に、就職活動をされた方は次の問 29 へお進みください。  
それ以外の方は問 32 へお進みください。

つぎに就職活動についてうかがいます。

問 29 就職活動にあたって、役に立った(重要だった)ものを次の中から順に2つ選んで、番号を記入してください。

1 番目 (          )          2 番目 (          )

1. 学内の友人との情報交換
2. 学外の友人との情報交換
3. 人間科学部卒業生からの情報
4. クラブ・サークル等の先輩からの情報
5. 家族や親戚からの情報
6. インターンシップ
7. 学内でおこなわれた企業説明会
8. 学外でおこなわれた企業説明会
9. リクナビなどの就職情報サイト
10. その他(具体的に:          )

問 30 就職活動が一番忙しかった時期はいつですか。

西暦    年   月

問 31 就職活動と学業の両立に困難を感じましたか。

1. 強く感じた
2. やや感じた
3. あまり感じなかった
4. ほとんど感じなかった

就職活動・進路指導・学生支援に対する要望についてうかがいます。

問 32 就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学部・本研究科にどのような支援があればよいと思いますか(特に、首都圏・地方での就職活動、公務員試験の準備に関しての意見をお持ちの方)。

問 33 就職活動以外の面で、本学部・本研究科にどのような学生支援があればよいと思いますか？

本学部または本研究科に対する総合的な意見についてうかがいます。

問 34 総合的に判断して、本学部または本研究科は満足できるものでしたか。

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

**問 35 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は**

**満足できるものでしたか。**

例) 講義室・図書室・実験施設・  
サイバーメディア室等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

**問 36 本学部・本研究科キャンパスのサポート面は**

**満足できるものでしたか。**

例) 事務・学生支援・就職支援等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

**問 37 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・**

**サポート面で、改善して欲しいことがあれば具体的に記入してください。**

**問 38 人間科学部・人間科学研究科に対するご意見・ご感想ございましたら、ご自由にお書きください。**

アンケートのご協力ありがとうございました